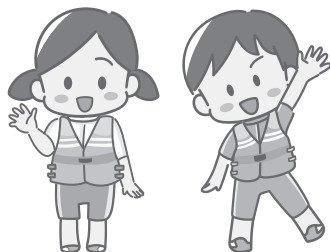


## i 水難事故にあわないために 事故を防ぐためのポイントを紹介します

問 中央消防署 (☎21-0119)

ライフジャケットを  
必ず着用しましょう!



- ① 立ち入り禁止の場所には近づかない。
- ② 体調が悪いときは無理をしない。
- ③ 単独行動は避ける。
- ④ 子どもから目を離さない。
- ⑤ お酒を飲んだら海や川などには入らない。
- ⑥ ライフジャケットを常時着用する。
- ⑦ 連絡手段を確保する。

### 7つのポイント

暑い時期になると、家族や友人と海や川へ出かける機会が増えてきます。水辺のレジャーは楽しいひとときですが、一方で毎年多くの「水の事故」が起きています。水の事故は命に関わる重大な事態になりかねません。

海や川などへ出かける前に、安全対策のポイントを押さえておきましょう。

### もし溺れてしまったら

- 浮く物があったらつかまる。
- あおむけで手足の力を抜いて広げる。
- 体力を残すためにばたばた動かない。
- 助けが来るまで浮いて動かず救助を待つ。

### 溺れている人を見つけたら

- すぐに助けを呼ぶ。119番通報をする。
- 原則、水の中に入って助けない。
- 長い物を差し伸べる。水に浮く物を投げる。



## i 台風シーズン前の備えが大事 停電対策はできていますか

問 危機管理課 (☎21-1131)  
中部電力パワーグリッド (☎0120-977-230)



市では、市民、地域、電力事業者などの共創により、停電への影響を減らす事前対策や早期復旧を目指す事後対策などに取り組んでいます。

### 停電の多くは 飛来物や倒木が原因

台風が接近するおそれがある場合は、事前に屋外の軽量物、看板、ビニールハウスなどの飛散防止や所有する土地の樹木の枝払い、伐採など適切な管理に努めましょう。

### 日ごろから食料や水など 7日分の備えを

停電の発生原因は台風だけとは限りません。あらゆる災害に備えて、7日分の食料や水、簡易トイレなどの防災備蓄品やマスク、ウェットティッシュなどの衛生用品を準備しましょう。

### 中部電力パワーグリッドから のお願い

切れた電線や強風による飛来物により、電線が切れて垂れ下がることがあります。切れた電線を見つけた場合は、感電する恐れがあるため絶対に触らずに、中部電力パワーグリッドへ連絡をお願いします。



### 「停電情報お知らせサービス」 をご活用ください

中部電力パワーグリッドでは、停電発生時に役立つ無料アプリ「停電情報お知らせサービス」を提供しています。お住まいの地域が停電した際に、プッシュ通知でお知らせする機能や地図上で停電地域を表示する機能、また、電気設備についてチャットで問い合わせできる機能もあります。ですので、ぜひご活用ください。

ダウンロードは  
こちらから



iOS



Android